

令和5年度小樽地区の研究活動

研修部長 小樽市立山の手小学校
校長 伏 間 公 洋

1. はじめに

小樽市小学校長会は、市内17校の校長をもって構成されている。本会は、これまで、小学校長会重点施策目標の実現を活動の中心に据えながら、小樽市中学校長会との連携のもと組織的取組を進め、成果を上げてきた。とりわけ、「校内組織の機能化」「小中一貫教育の推進」「人材育成」「業務改善」に焦点を当て、現状分析するとともに目標や方針を共有し、足並み揃えて学校運営の改善・強化が図られたことは大きな成果である。昨年開催された第74回全国連合小学校長会研究協議会島根大会（ハイブリッド開催）において、「健やかな体の育成」に関する小樽市小学校長会の研究1年次目として、小中一貫教育の充実による体力向上や地域の特色を生かした体力向上の取組を全国に発信し、大きな評価を得ることもできた。



◇6月13日 第1回人材育成研修会◇

今年度は、令和の日本型学校教育の構築に向けた取組の推進やポストコロナ時代の小学校教育の推進が重要となることから、一致協力して邁進し、本市はもとより北海道教育のますますの発展・充実に資するべく研究・研修活動に取り組んでいる。

2. 研究計画

(1) 重点施策

- ・令和の日本型学校教育の構築に向けた「新たな教師の学びの姿」の実現と多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成
- ・新型コロナウイルス感染症対策と教育活動の両立及びポストコロナ時代の小学校教育の創造
- ・全国連合小学校長会研究課題「健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方」に向けた共同研究の推進

(2) 研究組織

専門部を組織部、厚生部、研修部の3部会編制とし、研究活動を推進している。

3. 研究活動（各専門部の活動）

(1) 組織部

子どもが安心して日常生活を送ることのできる安全な環境をつくるため、小・中・高校及び関係諸団体などとの連携を密にし、子どもたちの健全育成並びに教育環境の充実や組織強化と学校経営の改善に資する業務推進に努める。

- ①小樽市小学校生活指導委員会に関する業務
- ②小樽市学校生活協議会に関する業務
- ③小樽市PTA連合会、北海道PTA連合会の事業に関する連携協力
- ④関係法規の整備、「校長必携」の編集業務（中学校との連携）
- ⑤小樽地区教育経営研修会（小学校主管）に関する業務
- ⑥道小調査関係に関する業務 など

(2) 厚生部

小樽市小学校長会の方針に基づき、学校給食及び学校保健・安全の向上を図るとともに、会員及び教職員の福利厚生の実と親睦に努める。

- ①会員相互の親睦に関すること
- ②学校給食関係諸機関との連携及び学校給食の向上への寄与
- ③学校保健・安全関係諸機関との連携及び学校保健の向上への寄与
- ④福利厚生及び関係機関との連携に関する業務
- ⑤業務内容に係る調査及び研究に関する業務

- ・小樽市学校給食運営協議会
- ・小樽市学校給食センター運営委員会
- ・小樽市定期健康診断会議
- ・メンタルヘルスセミナー事業推進会議
- ・小樽市教職員体育大会推進委員会 など
- ・小樽市学校給食検討委員会
- ・小樽市学校保健会
- ・小樽市小中学校結核対策委員会
- ・小樽市保健所運営協議会

(3) 研修部

全連小・道小の研究課題との関連において、研究テーマを設定し、本市の実態と学校教育上の課題を踏まえ、校長の果たすべき役割と校長としてのリーダーシップの発揮はどうあるべきかについて研究を進める。

<研究テーマ>

「健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントの推進における校長の役割と指導性」

<研究課題>

- ◇豊かなスポーツライフを送る資質・能力の育成につなげる教育活動の推進
- ◇家庭や地域等と連携した健康で安全な生活を営む実践力を育てる教育活動の推進

<研究計画>

- 1年次 実践交流
- 2年次 課題及び改善方策の交流・実践交流と検証（今年度）
- 3年次 共同実践と実践交流
- 4年次 実践のまとめ・発展

4. まとめ

本年度は、昨年実施の第74回全国連合小学校長会研究協議会島根大会（ハイブリッド開催）において、全連小の研究主題と関連した「健やかな体の育成」に関する小樽市小学校長会の研究の1年次目として、小中一貫教育の充実による体力向上や地域の特色を生かした体力向上の取組を全国に向け発信した内容を踏まえた共同実践に取り組むことで成果を上げている。

また、小樽市校長会テーマ「自走への連携」のもと、「自走へのマネジメント」を重点目標として掲げ、小樽市小学校長会全体で共通実践を行い、令和の日本型学校教育の構築に向けた取組や生かし高める人材育成、組織的な校務推進等に取り組むことができたことも大きな価値があるものと捉えている。

ポストコロナ時代の小学校教育の創造や令和の日本型学校教育の実現へ向け、ICTの効果的な活用を通じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による『主体的・対話的で深い学び』の実現につなげていく授業改善を着実に進めるなど、様々な学校課題の解決へ向け強いリーダーシップを今後も発揮していくことが重要である。

小樽市小学校長会は、今後も本市の学校教育に関する課題に対し組織一体となって粘り強くその解決に向けて取り組み、学校改善に資する研究活動をオール小樽・チーム小樽で推進していきたい。